

■武井柯亭 会津藩士。琴をよくし、長州藩士久坂玄瑞・桂小五郎らと親交をもつなど、独自の生き方をした。

たけいかてい

シボム来日・1823＝ 二百十石取武井安の長男として、陸奥国会津郡若松城下に生まれた。

おりしも藩政改革の一環として藩校日新館を設立、文武を奨励していた会津藩にあって、父は、学問に出精した故をもってたびたび賞せられ、また藩の手になる「新編会津風土記」編纂の主役を勤めた。

シボム事件・1828＝ 5歳：

鼠小僧磔・・1832＝ 9歳：

大塩平八郎乱1837＝14歳：

日新館の締方(授業担当者)を勤め、書を星研堂に師事し、のちには一家をなす。

天保改革始・1841＝18歳：

音律にもくわしく、琴をよくし、何亭琴士とも号したという。

阿部正弘首座1845＝22歳：

国定忠治磔・1850＝27歳：

ペリー来航・1853＝30歳：

蕃書調所・・1857＝34歳：家を継ぐ。

安政の大獄・1859＝36歳：

桜田門外変・1860＝37歳：蝦夷常詔組頭となったが、任地に赴かぬまま、

生麦事件・・1862＝39歳：*藩主松平容保が京都守義職に任ぜられると、職を転ぜられ京都に上った。国事に奔走、長州藩士久坂玄瑞・桂小五郎らと親交をもち、よく事情に通じていたので種々藩の重役に進言したが、いれられず、

薩摩藩士密航1865＝42歳：*致仕後帰郷、隠栖したが、

明治維新・・1868＝45歳：*戊辰戦争がおこると再び召し出され戦いに参加、南方面で活躍。

戦後、主家再興のため努力したが事成らず、以後はもっぱら琴・書に親しみ、諸方を遊歴したという。

明治6年政変 1873＝50歳：

西南戦争・・1877＝54歳：

明治14年政変1881＝58歳：

帝国大学始・1886＝63歳：

帝国憲法発布1889＝66歳：

日清戦争始・1894＝71歳：

日清戦争終・1895＝72歳：福島県大沼郡高田村(会津高田町)で、没した。